

地域の実践者メンター

HsOメンバー、下記実践者がメンターとして事業計画を修了発表会で発表できる形へサポート。
その他、テーマに応じてメンターをお招きします。現地調査や多様な受講生との対話を通じて、学びを深めていきます。



宮垣 健生 氏

但馬信用金庫 専務理事 総合企画部長

兵庫県豊岡市生まれ。但馬信用金庫では審査・組織戦略・リスク管理・職員研修・地域ビジネス創出支援等の業務を経て現職に。内閣官房2017年度、2019年度、2020年度、2022年度の地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』にも選出。内閣府の「企業等による地方創生SDGs調査・研究会委員（令和7年度）」も務める。持続可能なビジネスをゼロから構築する地域創生プロジェクト創出に注力。



木築 基弘 氏

株式会社 キヅキ商会 代表取締役

第1期オーガナイザー。但馬夢テーブル委員会9～10期委員長。長年、再生可能エネルギー導入等や持続可能な地域づくりを実践。地元の但馬では、若者が高卒で出た後、7割以上が地元に戻ってこない課題に対し、1期生でのテーマは「Uターンの促進」に。キャリア教育やふるさと教育となる企画を様々なメンバーで継続実践。高校生有志による地域活動サークルの顧問として、その運営も支えている。環境分野（SDGs）については、地元の高校の部活などの参画も得ながら、様々な啓発や実践。個人的には県内での出前講師なども行っている。

応募方法

受講までの流れ

申し込み▶ 応募書類による選考（地域性、公益性）▶ 受講決定通知（9月6日頃）
▶ 受講料のお支払い▶ 受講開始

応募締切

第一弾：令和7年8月31日中
※公開講座参加後の申し込み希望の方は9/19(金) 締切

応募方法

応募フォーム（<https://forms.office.com/r/AsSreFxmQ>）からお申し込みください。
上記フォームから申し込みが難しい場合は、問い合わせ先（office@hso-t.com）へメールで申し込み希望とご連絡ください。応募用紙をお送りします。

問い合わせ

ひょうご持続可能地域づくり機構（HsO）
（事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所（Hsl））
担当：中川 E-mail: office@hso-t.com

オーガナイザー育成プログラムWEB 説明会

対象：兵庫県下に在住／在勤で、本スクールへの応募を検討中の方
日程：8月17日（日）13時～、8月23日（土）13時～ ※各回30分程度
開催場所：オンライン
内容：プログラムの概要説明
申込：右の二次元コードよりお申し込みください（締切：各回前日の12時まで）
<https://forms.office.com/r/CpZe9pjpDU>

お悩みのかたは、説明会にお気軽にご参加ください！
説明会后、個別相談も可能です。

応募フォーム



学びの座学は単発受講も可能です。
詳しくは、「HsO」のHPまで。



ひょうご持続可能地域づくり機構（HsO）とは <https://www.hso-t.com>

当機構（HsO）は、人類的な課題となりつつある気候変動対策や生物多様性の保全と、地域の持続に向け、地域が中心となって取り組むため、環境省の人材育成モデル事業を契機として2015年に兵庫の但馬・豊岡の地で発足し、持続可能地域士（サステナビリティ・オーガナイザー）の育成に取り組んでいます。

構成：兵庫県、兵庫県立大学、神戸市、姫路市、相生市、豊岡市、赤穂市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町、（一社）ひょうご持続可能地域づくり研究所

【事業パートナー】

豊岡商工会議所、豊岡市商工会、（株）但馬銀行、但馬信用金庫、NPO 法人コウノトリ市民研究所、NPO 法人暮らしのエコをすすめる但馬の会、姫路商工会議所、姫路市商工会、宍粟市商工会、（株）三井住友銀行、（株）みなと銀行、西兵庫信用金庫、但陽信用金庫

【理事】

福山 雅章（兵庫県 環境部長）
上西 琴子（兵庫県 環境部次長）※監事
三川 博英（神戸市 環境局 副局長）
坂本 成彦（豊岡市 コウノトリ共生部 部長※監事）
中塚 一浩（姫路市 農林水産環境局 環境政策室 室長）
中村 仁志（宍粟市 産業部長）
土川 忠浩（兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科 教授）
畑中 直樹（（一社）ひょうご持続可能地域づくり研究所（Hsl） 代表理事）※代表理事

一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所（Hsl）

修了した受講生とともに持続可能な地域づくりに向け、事業の具体化、社会への実装を共に進めていくため、一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所（Hsl）を平成29年4月に設立しました。本事業の事務局を担当しています。

※平成29年4月11日設立、同5月9日登記



社会を変える
一歩を、踏み出す



ひょうごをフィールドに
地域のプロから学び、
明日の実践者へ



知るだけで終わらせない。
つくる人になる



事業にサステナビリティを



脱炭素×SDGs オーガナイザー育成プログラム

10期生募集中

募集期間：7月31日～8月31日※ 定員20名程度 ※第一弾締切

オススメ！

これまで中学生から70代まで
多様な世代・業種の方が参加

- 未来に向けて動き出したい高校生・大学生
- 地域連携・事業成長・仲間づくりに関心がある事業者の方
- 地域との関わり、仲間との活動を展開したい方など



二次元コードから、
お申し込みください



主催：兵庫県・公益財団法人ひょうご環境創造協会（運営：ひょうご持続可能地域づくり機構（HsO））
【事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所（Hsl）】

program summary

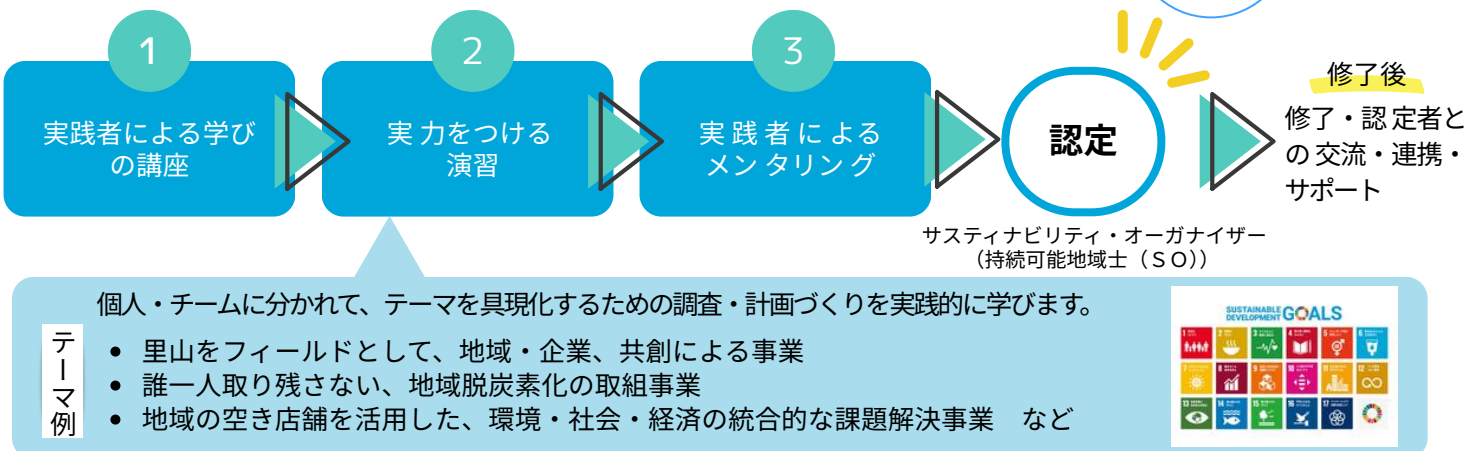
これからの事業づくり・地域づくりに必要な視点を学ぶ「学びの講座」と実践的な事業・活動計画の組み立てを学ぶ「実力をつける演習」。

20名程度の少数精鋭の中身の濃い講座で、受講生同士・修了生、さらに、全国のトップランナーの講師の方々との地域内外のネットワーク形成も可能です。

修了後も、機構が各受講生のフォローアップを行うとともに、修了・認定者同士のサポート・連携促進も行います。

受講生へのサポート

各コースの受講者は欠席回について動画等の視聴によるフォローを受けることができます。



募集要項

対 象

- 兵庫県内在住・在勤・在学の個人、事業者の方
- SDGsの理念を基盤とし、脱炭素化を目指した持続可能な社会の実現のために、事業づくりや地域づくりを率先して進めたいと考える方
- 地域との関わり、多様なセクターとの連携、事業の継続実施をコーディネートしたいと考えている方(中・高・大学生、個人、事業者、事業者をサポートする金融機関、NPO団体職員、地方公共団体職員の方など)
- 20名程度 ＊HsO理事会にて選考を実施

定 員

受講料

【個人】 25歳以下：無料、35歳以下：10,000円、左記以外の個人：15,000円
【法人】 25,000円 (1回の講座につき同法人から2名まで参加可)
＊視察等は上記以外一部実費負担あり (飲食代等)。

認 定

講座を受講し、チームによる活動・事業計画立案演習により一定の能力を身に付けた方を、サステナビリティ・オーガナイザー (持続可能地域士 (SO)) に認定

学びの講座は、
単発受講も可能。

学びの講座
1講座 3,000 円

参加者の声

漠然としたSDGsに関する興味を、知識を得て社会と絡めた具体的な形にしたいと、参加。大学生の私に、事業計画を立てられるのかと心配していましたが、内容の濃い講義とメンターの方々の手厚いサポート、そして同じ問題に対して深く考え合う仲間とともに作りあげることができて何より良かったです。これからの社会を担う世代として、持続可能な地域づくりについて考えるとても良い機会になりました！

岡山県真庭市での研修で印象的だった「今すぐ世界は変えられないけど、今すぐ世界の感じ方を変えるはできる」という言葉が、このプログラムでの学びを表している気がします。普通の生活を送ってれば出会えないような幅広い分野・年齢層の方々と過ごした時間は、今後の人生に生きてくると思います。

当初は頭の中だけの理解でSDGsや「地産地消」について、グループ内で議論していましたが、具体的な事業計画を「自分ごと」として捉える演習段階で変化が生じました。特に、現場の実情を把握する中で、次第に「地域の活性化」の重要性に気づかれ、ユニークな事業計画に仕上がったと思います。多くの課題を残しているものの、良い経験を積む機会となりました。

今回、プラスチック業界の視点から、変化する社会への貢献方法を探るために参加しました。当初は脱炭素の取り組みに対して不安がありましたが、講義や演習を通じて他の参加者の熱意に触れ、私たちにもできる身近な取り組みを見つけるきっかけとなりました。特に、グループ演習では多くの意見を交換し合い、有意義な学びの場となりました。

講座概要・スケジュール

場所・時間

- 神戸市内の会場・オンラインのハイブリッド方式
- 13:30～16:30頃

受講への一歩を後押しするため、ガイダンス+第1回の学びの座学は公開講座とします。ぜひご参加ください！

9.13 (土)

開校式
ガイダンス
第1回
学びの座学

地域で取り組む脱炭素化・地域循環共生圏



畑中 直樹氏 ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO) (一社) ひょうご持続可能地域づくり研究所(Hsl) 代表理事

大阪大学大学院工学研究科 招聘教員 (環境エネルギー工学専攻)。博士(環境科学)。福岡出身、西宮在住。(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター元客員研究員、北はりま田園空間博物館、上山高原エコミュージアム、東条川疏水ネットワーク博物館等の設立に関わり現在もアドバイザー等としてサポート。行政の各種委員・講師等とともに、自然再生や森林・木材関係のNPO等の役員としても多数活動。一貫して地域の環境問題・持続可能な地域づくり及びその担い手の育成に取り組む。総務省地域力創造アドバイザー、(一財)地域総合整備財団 (ふるさと財団) 地域再生マネージャー、北海道松前町参与ほか。

公開講座・無料

9.27 (土)

第2回
学びの座学

ひょうご里山・里海国際フォーラム

里山・里海的重要性や保全と再生に向けた取り組みを、国内外に発信する国際フォーラム。修了生も登壇します。

10.25 (土)

第3回
学びの座学

脱炭素社会に求められる事業の視点・あり方について



大久保 和孝氏 株式会社大久保アソシエイツ 代表取締役社長 公認会計士 (元EY 新日本有限責任監査法人経営専務理事)

慶應義塾大学卒。(株)商工中央金庫取締役、(株)セガサミーホールディングス取締役 (監査等委員)、農業法人サラダボウル取締役等の社外役員に多数就任のほか、理化学研究所客員研究員、長野県農業大学校客員教授等を歴任。水素を蓄電に活用する技術のコアにする(株)メグレナジー (代表取締役副社長)、宇宙でのレーザー利用を目的としたスペースレーザーテクノロジーズ(株) (代表取締役社長)、PCRなどの検査を行う(株)SSD (F代表取締役社長)などを起業。そのほか、政府等の多数の役職につき、長野県・宮崎市・日南市・鎌倉市コンプライアンス担当参与、地方活性化支援として大阪府・長野県・夕張市・京丹後市・気仙沼市・金山市の参与・アドバイザーを歴任。キリンビール地域創生トレーニングセンタープロジェクト運営委員等。

11.1 (土)

第4回
学びの座学

地域循環共生圏のはじめかた～資金循環のしくみから～



深尾 昌峰氏 龍谷大学副学長/政策学部教授

熊本県出身。滋賀大学大学院修了。2001年に日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」の立ち上げに参画 (事務局長、理事長などを歴任。) 公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任('09年~18)。その他、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来委員会」委員などを歴任。2012年には社会的投資を促進する株式会社PLUS SOCIALを起業。2014年グッドデザイン賞を受賞。2010年4月に龍谷大学法学部准教授に就任し2011年4月から政策学部准教授、2018年から政策学部教授。2022年4月からは副学長も務める。

11～2月

実践力を
養う演習

全体演習

11/29 (土)
12/13 (土)
2/21 (土)

※その他、チームごとにミーティングやメンタリング日を設定 (2～3回)

メンターは裏面参照

3月

修了発表会

第1回：テーマ・仮説

それぞれの関心のテーマを踏まえて、チーム分け。ご自身のテーマが確立されておられる場合、お一人で取り組むことも可能です。

第2回：調査結果持ち寄り・組立

実際に、フィールドに出たり、デスクトップ調査をしたり。思い込みで進めないための調査・検討を積み重ねます。

第3回：事業計画最終ディスカッション

様々な調査・対話を得て、事業計画にまとめます。修了発表会に向けて、役割分担をしながら仕上げ。

修了生との交流会

- 修了生 (～8期生) をお招きし、どのように事業計画を考えたのか、修了後の活動報告を行っていただき、受講生の交流を図ります。
- 左記の演習の日程と出来るだけあわせて開催予定です。

先進地視察 (日帰りを想定) 1～2月を想定

- 持続可能な地域づくりに資する事業・活動やSDGsに取り組む先進地を視察します。
- 地域で活躍する先駆者の方々の想いや活動の経緯等の話をうかがい、自分達の事業や地域づくりに何が必要か、今後、どのような活動をしていくのかを考えます。(視察候補：兵庫県淡路市/兵庫県豊岡市/岡山県真庭市など)

※現時点、未定の日程は、決まり次第HPで随時公開しています。
※プログラムは変更する場合があります